

# 東日本ユニオンにいがた

http://www.geocities.jp/higashinihonunion\_niigata/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2017年7月15日発行

第32号 (通巻第64号)

発行者：岡村広志 編集者：教育・広報部

## 新潟地方本部 第5回定期大会



2017年7月23日(日)  
12時30分より  
新潟市「ホテル日航新潟」

# 未来を見据えた体制と方針を確立！



## 本部 第5回定期大会を開催

中央本部は7月8日、ホテルラングウッドにおいて第5回定期大会を開催しました。退任した渡辺執行委員長に代わり佐藤執行委員長が就任したのをはじめ、新潟地本から新たに3名が中央執行委員に選出されるなど、東日本ユニオンの将来を展望した執行体制と方針を確立しました。

### 一年間の成果と教訓を共有

JR東日本は今年、発足30年を迎えました。社員、組合員の努力により大きな成果を挙げました。社員、組合員の加入を実現した地方本部の代議員からの「長い年月をかけて人間関係を構築してきたことが成果に結び付いた」との発言や「エルダーに関して本体の仕事が残るのは成果だが、給料半額で責任は現職と変わらないのは厳しい」など、現場からの生の声も語られました。

新潟地方本部選出の代議員は2名が「労働運動の一元化を目指す大会を全組合員一人ひとりが主役の取り組みとして開催するために悩みながら作り出してきた」「昭和採用連絡会を結成し、エルダー制度に関わる問題に対して中心となり取り組んできた」など発言しました。今回の大会では未来を

な利益を上げる企業へと成長を遂げた一方で、それを実現してきた社員への還元は十分なものとはいえません。2017春闘をふまえてJR東日本に働く労働者にふさわしい賃金や労働条件を実現するためのたたかいを職場から構築していく必要があります。同時に、全てのJR関係労働者の死亡事故ゼロ・重大労災事故ゼロの実現をめざして取り組むとともに、急激な世代交代による技術断層をなくすため、技術継承と人材育成についても追求していくことが課題となります。

そのためには組織の強化・拡大に向けて取り組むと同時に、労働運動の大同団結・一元化の実現に向けて具体的に運動を創り出すことが必要です。渡辺執行委員長は挨拶の中で労働組合の垣根を越えて、多くの社員から共感され信頼される労働組合を創造するために、新たな一歩を踏み出そうと訴えました。

### エルダー制度に関して職場討議資料を作成

昭和採用連絡会では、4号・エルダー社員制度の誠意ある運用を求める第三次申し入れの団体交渉に向けて5日間にわたり根拠付集会を開催しました。

意見が出し合われ、様々な視点から議論を行いました。この集会で出された情報や意見を基に昭和採用連絡会では職場討議資料を作成しました。地本ホームページに

### 本部申9号団交 経営側の姿勢を正す

中央本部は7月4日、申9号・エルダー社員制度の運用及びあり方に関する申し入れの団体交渉を行いました。本部交渉団はエルダー社員制度の運用をめぐり「ライフプラン・いきいきガイド」で示されたスケジュール通りに進んでいないことを質しました。

交渉団は、制度をつくったのは会社であり、社員に示しているスケジュール通りに運用することは会社の責任だと強く指摘しました。さらに、遅れた理由を求めているのではなくスケジュール通りに運用することを求めていると主張し、スケジュールが遅れることを前提としている経営側の姿勢を正しました。

公平・公正な運用を通じて誰もが安心して利用できるエルダー制度を実現しよう！

JR東日本労働組合新潟地方本部 昭和採用連絡会

新潟新幹線運輸区分会 見学するなど、自然も満喫しました。分会組合員の交流をより深めてきました。(新潟新幹線運輸区分会投稿)

### 自然も満喫！仁賀保への旅

新潟新幹線運輸区分会 分会旅行

